



「ISPO 認定義肢装具士」試験実施および受験者募集のお知らせ

義肢装具自立支援学科では、2019年3月に国際義肢装具協会(ISPO:International Society for Prosthetics & Orthotics)が定める教育水準最高位「ISPO 義肢装具士」の養成機関としての認証を受けました。これにより本年度、当大学初となる「ISPO 義肢装具士」の試験(ISPO 認定義肢装具士試験)を、卒業見込み学生ならびに卒業生に対し、実施する運びとなりました。

受験を希望する者は、以下の実施概要をご確認のうえ、お申し込みをお願いします。

「ISPO 認定義肢装具士」試験実施概要

1. 日時

2024年 3月13日(水)、3月14日(木) 2日間 9:00-17:00

2. 場所

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 義肢装具自立支援学科

3. ISPO 認定義肢装具士の取得条件

以下の2つの条件を満たした者としてします。

- 1) 「ISPO 認定義肢装具士試験」に合格した者
- 2) 卒業後、15 カ月以上の臨床経験を積んだのち、本学が提示する 5 例について症例報告書を提出し認められた者

4. 受験資格

【受験対象者1】 2024年3月 卒業見込み学生

本学が定める条件である2年次「臨床実習Ⅱ(義肢装具施設)」の単位を取得し、卒業かつ義肢装具士国家試験合格の見込みのある者としてします。また、ISPO 認定義肢装具士を取得するには、当該試験に合格した後、15 カ月以上の臨床経験を積んだのち、本学が提示する 5 例について症例報告書を提出し認められることが必要です。症例報告書の提出は、当該試験に合格してから原則 5 年以内とします。

【受験対象者2】 2020年3月 以前卒業生

卒業後、15 カ月以上の臨床経験を積んでおり、かつ本学が提示した 5 例について症例報告書を提出し、認められた者としてします。受験の可否は 12 月末日までにお知らせします。

【受験対象者3】 2021、2022年3月 卒業生(2016~2021カリキュラム対象者)

卒業後、15 カ月以上の臨床経験を積んでおり、かつ本学が提示する 3 例について症例報告書を提出し、認められた者としてします。受験の可否は 12 月末日までにお知らせします。また残りの 2 例については当該試験に合格のち、原則 5 年以内に提出してください。

5. 症例報告書について

1) 提出の条件

15 カ月以上の臨床経験を積んでいる者としてします。

2) 症例について

症例は 5 例としてします。その際、装具では、上肢装具、下肢装具、体幹装具、靴型装具、特殊装具の中から、義肢では義手、義足、特殊義肢の中から、対応した対象者の義肢装具に偏り(重複)がないように作

成してください。また症例報告書は学会等での症例発表をもって替えることができます。この場合、当該学会の発表抄録と発表資料(PP、ポスター)を PDF にして提出してください。

3) 症例報告書の作成要項について

症例報告書は以下の「症例報告書作成要項」を読み、記載フォームを参考に作成してください。

4) 症例報告書の提出先と提出期限

提出先: 「ISPO 認定義肢装具士」試験係

メールアドレス: ispo@nuhw.ac.jp

提出締め切り: 2023 年 12 月 11 日(月)

6. 試験当日の内容について

当該試験は、以下の 2 項目で審査を行います。

1) OSCE 形式の実技(筆記試験を含む)

具体的な日程については、受験の可否のお知らせの際にお伝えします。

2) 症例発表

【受験対象者1】 2024 年 3 月卒業見込み学生

試験日に、症例発表はありません。

【受験対象者2】 2020 年 3 月以前卒業生

提出した 5 例の症例報告書(学会発表抄録を含む)より、1例についてパワーポイントにまとめ、当日、説明してください。その際の発表内容および質疑応答等を審査します。発表時間は 15 分、質疑応答は 15 分とします。発表データは試験当日、発表の場で提出してください。

【受験対象者3】 2021、2022 年 3 月卒業生(2016~2021 カリキュラム対象者)

対象者 2 に準じます。

7. 受験料

受験料は、3 万円とします。支払い方法は、受験資格の審査結果とともにお知らせします。

8. 「ISPO 認定義肢装具士」の試験結果について

2024 年 3 月末日までに、メール等で受験者にお知らせします。

9. 申し込み方法

以下の項目を記載したうえで症例報告書を添付し、「ISPO 認定義肢装具士」試験係 までメール(ispo@nuhw.ac.jp)でお送りください。

- ①氏名(日本語): _____ (ローマ字): _____
- ②年齢: _____
- ③性別: _____
- ④卒業年:西暦 _____ 年 3 月卒業 (義肢装具自立支援学科第 _____ 期卒業)
- ⑤所属先(所属部署): _____
- ⑥所属先住所: _____
- ⑦連絡先電話番号: _____
- ⑧メールアドレス: _____

10. お問い合わせ先

何かご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

「ISPO 認定義肢装具士試験係」 担当:前田 雄 メールアドレス:ispo@nuhw.ac.jp

症例報告書の作成要項

1) 症例報告書の目的

臨床における症例報告書を作成することで、「ISPO 認定義肢装具士」としての基準を有しているかを審査するものです。

2) 症例報告書の書式

書式については、当該フォームを参考にワード等で作成してください。

◆フォント：ゴシック体、明朝体(本文)

※英数字は Century または Times New Roman

◆ポイント：11pt

◆枚 数：一症例につき A4 用紙で 3～5 枚程度(図・表・写真を含む)

※適宜、図や表を用いて、わかりやすい報告書を作成すること。

3) 記載項目(症例報告書)

臨床で取り組んだ対象者(疾患・障害)について報告書を作成してください。内容については、原則、以下の項目を参考に記載してください。

(1) はじめに

(2) 症例紹介

①基本情報(性別、年齢、身長・体重、生活環境、就学・就労環境、その他)

②疾患名・障害名(原因、既往歴・合併症、障害等級等)

など

(3) 治療・リハの方針の策定に向けた対象者の評価(ROM、MMT、その他)

(4) 治療・リハの方針

(5) 処方された義肢装具

※(3)の評価結果を受けて処方(選択)された義肢装具の構成要素の説明

(6) 採寸・採型、陽性モデル修正、加工・組立時における特記事項(工夫)

(7) 仮合わせ(中間適合検査)

(※適合項目、適合手順、適合状況、対処、結果などを記載)

(8) 完成・納品(最終適合検査)はどのように行ったか

(9) アフターフォロー

(10) 考察

(11) まとめ

(12) 参考文献等

4) 個人情報保護について(厳守)

個人の情報については個人が特定できないよう、一切記載しないでください。

5) 提出先と提出期限

提出先：「ISPO 認定義肢装具士」試験係

メールアドレス：ispo@nuhw.ac.jp

提出締め切り：2023年12月11日(月)

以上

新潟医療福祉大学
リハビリテーション学部 義肢装具自立支援学科

ISPO 認定義肢装具士
症例報告書

提出日: (西暦) 年 月 日

症例1:

所属:

氏名:

(西暦 年 月 卒業 期生)

※以下の項目を参考に作成してください(フォンは 11 ポイント)。

1. はじめに

2. 症例紹介

2.1 基本情報(性別、年齢、身長・体重、生活環境、就学・就労環境、その他)

2.2 疾患名・障害名(原因、合併症、障害等級等)

3. 治療・リハの方針の策定に向けた対象者の評価(ROM、MMT、その他)

4. 治療・リハの方針

5. 処方された義肢装具

※3.の評価結果を受けて処方(選択)された義肢装具の構成要素の説明

6. 採寸・採型、陽性モデル修正、加工・組立時における特記事項(工夫)

7. 仮合わせ(中間適合検査)

(※適合項目、適合手順、適合状況、対処、結果などを記載)

8. 完成・納品(最終適合検査)はどのように行ったか

9. アフターフォロー

10. 考察

11. まとめ

12. 参考文献等

以上